

算数 「対称な図形」教科書の答え

p10 ③ 二つ折りにしたとき、重なる辺の長さや角の大きさに注目する。

P11 ④ 辺AB=2.5cm 辺AF=2.5cm

辺BC=2.5cm 辺FE=2.5cm

辺CD=1.5cm 辺ED=1.5cm

角DAB=70° 角DAF=70°

角 B =80° 角 F =80°

角 C =75° 角 E =75°

角ADC=135° 角ADE=135°

この結果から、対応する辺の長さや対応する角の大きさは、すべて等しくなっている。

① 垂直に交わっている。

② 直線BG=2.3cm 直線FG=2.3cm 等しい

P12 ③ (点Mから対称の軸に垂直な直線をひき、辺FEと交わった点が、点Nとなる。)

△1 ① 3.5cm ② 36° ③ 直線BF=直線EF 直線DG=直線CG ④ 4本

△2 ① 頂点Aと辺BCの真ん中を結ぶ。 ② 垂直に交わっている。

③ (点Dから対称の軸に垂直な直線をひき、辺ABと交わった点が、点Eとなる。)

P13 ① (頂点から対称の軸に垂直な直線をひく。その交わる点と頂点までの長さが等しくなるように対応する頂点を決める。それぞれの対応する頂点が決まれば、直線で結び線対称な図形をかく。)

△3 (この問題は方眼ではないが、上の問題①のように、対応する2つの点を結ぶ直線と対称の軸の関係を使って頂点を決めて、線対称な図形をかく。)

正六角形

△4 (線対称な図形の2つの性質(P12のまとめ)を使ってかくこと。)

P14 ① (「・」にコンパスの針をさして調べる。) 180°

② (①と同様に、コンパスの針を使ってやる。)

4つとも、⊖と同様に、もとの図形にぴったり重なる。